

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 30 日(2025.6.30)

【公開番号】特開 2023-33227(P2023-33227A)
【公開日】令和 5 年 3 月 9 日(2023.3.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-045
【出願番号】特願 2022-134119(P2022-134119)
【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34(2006.01)

10

A 6 1 K 8/35(2006.01)

A 6 1 Q 19/00(2006.01)

A 6 1 Q 17/00(2006.01)

A 6 1 K 8/72(2006.01)

D 0 4 H 1/728(2012.01)

【F I】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/35

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 17/00

20

A 6 1 K 8/72

D 0 4 H 1/728

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 20 日(2025.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分(A)、成分(B)及び成分(C)：

(A) 水、アルコール及びケトンから選ばれる 1 種又は 2 種以上の揮発性物質、

(B) 繊維形成能を有する水不溶性ポリマー、及び

(C) ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含有し、

成分(B)として、(B1) 分子量 1×10^5 以上の前記ポリマーを含有し、

成分(B)に対する成分(B1)の含有質量比 $((B1)/(B))$ が 0.5 以上であり

、

成分(C)に対する成分(B)の含有質量比 $((B)/(C))$ が 1 以上である、

40

静電スプレーにより直接皮膚上に繊維を含む堆積物からなる被膜を形成するための被膜形成用組成物。

【請求項 2】

次の成分(A)、成分(B)及び成分(C)：

(A) 水、アルコール及びケトンから選ばれる 1 種又は 2 種以上の揮発性物質、

(B) 繊維形成能を有する水不溶性ポリマー、及び

(C) ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含有し、

成分(B)の数平均分子量が 4.5×10^4 以上であり、

成分(C)に対する成分(B)の含有質量比 $((B)/(C))$ が 1 以上である、

静電スプレーにより直接皮膚上に繊維を含む堆積物からなる被膜を形成するための被膜形

50

成用組成物。

【請求項 3】

成分 (A) の含有量が 45 質量 % 以上 95 質量 % 以下、成分 (B) の含有量が 3 質量 % 以上 30 質量 % 以下である請求項 1 又は 2 記載の被膜形成用組成物。

【請求項 4】

成分 (C) の含有量が 0.1 質量 % 以上 30 質量 % 以下である請求項 1 又は 2 記載の被膜形成用組成物。

【請求項 5】

(B) 被膜形成能を有するポリマーが、部分鹸化ポリビニルアルコール、低鹸化ポリビニルアルコール、完全鹸化ポリビニルアルコール、ポリビニルブチラール樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリメタクリル酸樹脂、オキサゾリン変性シリコン、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、及びポリ乳酸からなる群より選択された少なくとも 1 種である請求項 1 又は 2 記載の被膜形成用組成物。

10

【請求項 6】

成分 (C) に対する成分 (B) の含有質量比 $((B)/(C))$ が、1.1 以上 30 以下である請求項 1 又は 2 記載の被膜形成用組成物。

【請求項 7】

成分 (A) に対する成分 (B) の含有質量比 $((B)/(A))$ が、0.03 以上 0.5 以下である請求項 1 又は 2 記載の被膜形成用組成物。

【請求項 8】

さらに、成分 (D) 油を含有する請求項 1 又は 2 記載の被膜形成用組成物。

20

【請求項 9】

次の成分 (A)、成分 (B) 及び成分 (C)

(A) 水、アルコール及びケトンから選ばれる 1 種又は 2 種以上の揮発性物質、

(B) 繊維形成能を有する水不溶性ポリマー、及び

(C) ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を添加して得られ、

成分 (B) の数平均分子量が 4.5×10^4 以上であり、

成分 (C) に対する成分 (B) の含有質量比 $(B)/(C)$ が 1 以上である、

静電スプレーにより直接皮膚上に繊維を含む堆積物からなる被膜を形成するための被膜形成用組成物。

30

【請求項 10】

次の成分 (A)、成分 (B) 及び成分 (C)

(A) 水、アルコール及びケトンから選ばれる 1 種又は 2 種以上の揮発性物質、

(B) 繊維形成能を有する水不溶性ポリマー、

(C) ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含有し、

成分 (B) の分子量分布のピークが、 9.0×10^4 を超えるポリマーであり、

成分 (C) に対する成分 (B) の含有質量比 $(B)/(C)$ が 1 以上である、

静電スプレーにより直接皮膚上に繊維を含む堆積物からなる被膜を形成するための被膜形成用組成物。

【請求項 11】

次の成分 (A)、成分 (B) 及び成分 (C) :

(A) 水、アルコール及びケトンから選ばれる 1 種又は 2 種以上の揮発性物質、

(B) 繊維形成能を有する水不溶性ポリマー、及び

(C) ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含有し、

成分 (B) として、(B1) 分子量 1×10^5 以上の前記ポリマーを含有し、

成分 (B) に対する成分 (B1) の含有質量比 $((B1)/(B))$ が 0.5 以上であり、

成分 (C) に対する成分 (B) の含有質量比 $((B)/(C))$ が 1 以上である組成物を用いて、被膜形成対象物の表面に繊維を含む堆積物からなる被膜を形成する、被膜の製造方法。

40

50

【請求項 1 2】

次の成分（A）、成分（B）及び成分（C）：

（A）水、アルコール及びケトンから選ばれる 1 種又は 2 種以上の揮発性物質、

（B）繊維形成能を有する水不溶性ポリマー、及び

（C）ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含有し、

成分（B）の数平均分子量が 4.5×10^4 以上であり、

成分（C）に対する成分（B）の含有質量比（（B）／（C））が 1 以上である組成物を用いて、被膜形成対象物の表面に繊維を含む堆積物からなる被膜を形成する、被膜の製造方法。

【請求項 1 3】

10

被膜形成対象物が、皮膚である請求項 1 1 又は 1 2 記載の被膜の製造方法。

【請求項 1 4】

繊維の堆積物で構成され、皮膚に転写して用いる貼付用ファイバーシートであって、前記貼付用ファイバーシートは、（B）ポリビニルブチラル樹脂が繊維の主成分であり、成分（C）ポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含有し、成分（B）の数平均分子量が 4.5×10^4 以上であり、成分（C）に対する成分（B）の含有質量比（（B）／（C））が 1 以上である貼付用ファイバーシート。

【請求項 1 5】

前記貼付用ファイバーシートを構成する繊維の太さが、円相当直径で 10 nm 以上 3000 nm 以下である請求項 1 4 記載の貼付用ファイバーシート。

20

30

40

50